



# 2019年度 事業報告書

2019年7月1日から 2020年6月30日まで

認定NPO法人国際インフラパートナーズ

## 1 活動方針

広く世界の人々のために、社会経済基盤施設（インフラストラクチャー）の整備・管理に関する事業等を内外の関係者と協力連携して行い、開発途上国等の国土整備・管理に協力することにより、持続可能な社会経済の発展を実現し、わが国の安全・繁栄に寄与することを目的に活動する。

上記の活動方針を実現するため、各方面との交流を深め、かつ共同活動を行うことにより効果的な活動を行うように心がけた。

### ① 経済技術協力事業

(イ) 2016年度に、多発する災害に対応してミャンマー連邦共和国バゴー地域チャウタガ地区イトネ・クリーク橋災害復旧工事を外務省の日本NGO連携無償資金協力により実施したことによって沈下橋の有効性が評価され、2017年度にはマグウェー地域にて3橋、2018年度に同じくマグウェー地域において3箇所の建設と技術移転事業が採択された。マグウェー地域政府は2019年度に地域政府の予算で8橋の沈下橋を予算化したので、2019年度はマグウェー地域に隣接するササイン地域に3箇所、近年まで分離運動などがあって公共投資が遅れているカイン州に1箇所の沈下橋を建設した。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックのため日本人スタッフは帰国のやむなきに至ったが、工事は順調に進捗し、6月以降、コロナ流行の厳戒態勢のなか地元住民によって開通式が挙行された。雨季に入っても住民の往来と物資輸送が確保されるようになったので、学校の休校がほとんどなくなるなど教育機会が向上し、今まで自動車が入って来なかった村に大型トラックが入るなど、特産物の出荷、ひいては生活の安定や雇用の促進に大いに寄与している。洪水時には流木を排除するなど、住民が自発的に維持管理しており、持続性のある事業として住民にも高く評価されていることを示すものである。ワークショップは1回しか開催できなかったが、全国から関係の中央・地方の政府技術者が参加して相当の成果を挙げた。

(ロ) 2019年度契約のJICA草の根協力事業パートナー型（2019・4～2021・4）を着実に実施した。ミャンマー連邦共和国 労働集約型簡易舗装実施支援事業によりアスファルトコンクリート簡易舗装に加えて セメントコンクリートによる簡易舗装の実施マニュアル作成等の技術協力を行った。アスファルトコンクリートの施工マニュアルの作成も進んでおり、いっそうの発展を目指して事業を継続・発展させる協議も進んでいる。

(ハ) 技術交流活動、相互理解等事業に引き続き取り組んでいる。

② ウェブサイトを刷新して事業の広報に努めたほか、雑誌への投稿、海外事情ニュースの配信を行って世界のインフラストラクチャー事情の理解増進に努めた。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(1) 開発途上国等支援のための経済技術協力等事業	(イ) 外務省の日本NGO連携無償資金協力によるマグウェー地域の3橋の沈下橋建設工事の実施	2019.10～2020.6	ミャンマーササイン地域で3箇所、カイン州で1箇所	1,000 内日本10 ミャンマー990	業務参加者と周辺の住民、5万人以上、間接的には560万人	80,606 うち、N連について自己資金1,026を含む
	(ロ) JICA草の根協力事業パートナー型「ミャンマー国労働集約型簡易舗装実施支援事業」の実施	2019.7～2020.6	ミャンマー	100 内日本20、 ミャンマー80	業務参加者と簡易舗装技術マニュアル対象地域住民、1,500万人（人口の1/4）	
(2) 同、技術交流等事業	来日技術者との交流、在日土木系留学生と国土交通省職員との交流支援	2019.7～2020.6	東京ほか	30	90	1,676
(3) 同、相互理解・友好関係の増進事業	ウェブサイトの刷新、雑誌への投稿、海外事情ニュースの配信を行って世界のインフラストラクチャー事情の理解増進に努めた。	2019.7～2020.6	東京	5	約10,000	0（直営）

(2) その他の事業  
特になし。